

平成 28 年度ぎふ清流未来の会議 開催結果

森・里・川・海で環境学習に取り組む子どもたちが、世代や分野を越えて、森・里・川・海のつながりを踏まえた交流の促進を図ることを目的とした「ぎふ清流未来の会議」を平成28年12月3日(土)に世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふで開催しました。

当日は、小・中・高等学校の児童・生徒109名が参加し、成果発表や交流プログラムを行いました。

環境学習交流会

日頃の環境学習・環境保全活動について、県内外の小中高等学校（5校・109名）が発表しました。

県内の小中高等学校が森・里・川での活動について、また、三重県松坂市から参加の市立豊地小学校が川・海での活動について、小グループに分かれてお互いに発表し合い、交流を行いました。

発表・交流後には、アクア・トトぎふの河合学芸員から講評をいただきました。

参加校・団体の発表テーマ

森

揖斐川町立北方小学校 4年生

テーマ：“実のなる木を育てて豊かな森ときれいな水を守りたい”



里

岐阜県立大垣養老高等学校 生産科学科動物専攻3年生

テーマ：“高校生野生動物管理学実践隊～ワイルドライフマネージャーYoRoの活動～”



川

羽島市立堀津小学校 5年生

テーマ：“長良川および校区の水路にすむ生き物と私たちの暮らし”



山県市立高富中学校 生物部

テーマ：“守れ！ふるさとのヒダサンショウウオ”



川・海

松阪市立豊地小学校 5年生

テーマ：“中村川 山から海へ”



グループ交流



講評



昼食

山・里・川の幸として岐阜県の食材、海の幸として三重県の食材を使ったお弁当をいただきました。



みんなつながる ^わ環っ！ストラップづくり

アクア・トトぎふ館内に展示されている生きものを探しながら、鹿の角等の材料を集めストラップを製作し、山から海へのつながりについて学習する体験プログラムを行いました。

